

令和5年度 学校評価 自己評価書【1学期】

(小78)生見小学校

令和5年8月10日(木)

1 学校の重点課題

- | | |
|---------------------------|---|
| ○ 学習の基盤となる情報活用能力の育成 | ○ 自ら進んで最後まで粘り強く取り組む態度の育成 |
| ○ 道徳教育や体験活動を基盤とした豊かな情操の実践 | ○ 相手の意図を理解し、自分の言いたいことを伝えるコミュニケーション能力の育成 |

2 課題と改善策

	評 価 項 目		評 価 の 結 果 と 改 善 策
学 校 経 営	1 学年・学級経営における教育目標の具現化	3.5	○ 職員会議や心の教育委員会等とおして、教育課題を職員全員で共有することで、教育目標に対する具体的な対策を講じ、実践することができた。 ○ PTAとの連絡・調整を図りながら、PTA活動や地域行事等に参加・協力することができた。今後も連携を図っていきたい。
	2 目標達成のための意欲付け・実践化	3.2	
	3 教育課題の明確化	3.2	
	4 師弟同行の環境づくり	3.3	
	5 保護者や地域に開かれた教育活動	3.3	
学 習 指 導	1 発達段階に即した学習の基盤づくり	3.5	○ 評価すべき内容、項目を絞って重点的に評価していく。評価をもとに一人一人の課題を把握し、課題に応じた授業展開に努めていく。 ○ 標準学力検査や全国学力・学習状況調査等の各検査結果を考察し、結果から見えてきた課題をもとに今後の授業展開に生かす。また、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図ることを学力向上の重点目標と位置付け、年間をおして取り組むことを共通理解した。 ○ テーマ研修で複式指導について実践事項の共通理解を図った。ガイド学習の充実を図りながら、一人一台端末を含めICTを効果的に活用した授業展開の在り方について、その成果や課題の共有化を図っていく。 ○ 普段の学習でタブレットを積極的に活用し、ロイロノートやまなびポケットを用いた授業展開を定着させていく。 △ 校内就学指導委員会をおして、児童の実態に応じた指導・支援を全体で講じていく。
	2 基本的な指導過程を踏まえた授業の展開	3.3	
	3 人権同和教育の視点に立った一人一人が活躍できる場の設定	3.6	
	4 評価とまとめを大切に学習内容の確実な定着	3.3	
	5 学力検査等の結果を踏まえた指導内容の重点化	3.0	
	6 具体的な数値目標の設定	3.4	
	7 習熟の時間(国語・算数・体育タイム)の充実	3.8	
	8 教材・教具の計画的な整備・活用	3.2	
	9 少人数・複式学級における指導形態の工夫やガイド役の育成	3.3	
	10 ICT機器の積極的な活用と情報活用能力の育成	3.6	
	11 特別支援教育の視点に立った児童の実態に応じた指導・支援	3.3	
	12 「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の習慣化	3.0	
	13 体験的な学習に重点を置いた外国語活動の充実	3.8	
生 活 指 導	1 心の教育委員会(児童理解)の充実	3.3	○ 夏季休業中に教育相談を実施した。相談をおして得た情報をもとに児童や保護者のニーズに応じた対応を考え、学級経営に生かす。 ○ グリーンタイム等を利用して異年齢集団の縦割り活動を毎日実施している。全職員で活動を見届け、賞賛・励ましの声掛けをする。 ○ 情報モラルやネットの活用の仕方について「思いやりの心」を育てることを根幹に置いた指導を継続して行う。 △ 少人数における話し合い活動の在り方について、主体的な話し合いができるように役割や進め方、話し合いのたせ方について工夫していく。
	2 教育相談をおして児童や保護者のニーズの把握	3.2	
	3 各教科や行事等と関連付けた道徳教育の推進	3.3	
	4 児童一人一人の心の動きを大切に道徳教育の充実	3.0	
	5 発達段階に応じた情報モラルの指導の徹底	3.5	
	6 特別活動の充実と話し合い活動の活性化	3.2	
	7 異年齢集団による縦割り班活動の充実	3.6	

	評 価 項 目		評 価 の 結 果 と 改 善 策
生活指導	8 グリーンタイムなどの環境教育の充実 9 俳句タイムの充実, 作文力・表現力の育成 10 教児一体となった読書活動の推進	3.4 3.8 3.5	○ 月や季節ごとに作成した句を俳句タイムで表現・発表する活動をとおして, 作文力や表現力の育成を図っていく。
体育・保健指導	1 体力づくり活動の日常化 2 体育・遊具施設の効果的な活用 3 郷土の豊かな自然を生かした体験活動の充実 4 こまめな児童の心身の健康状態の把握 5 家庭と連携した望ましい食習慣の形成 6 性教育並びに薬物乱用防止教育の推進 7 家庭と連携した学校保健委員会の充実 8 安全点検や危険箇所点検の徹底 9 心と体の耐性づくりの推進 10 体力・運動能力調査の等の結果を踏まえた指導内容の重点化	3.0 2.8 3.0 3.8 3.0 3.0 3.4 3.2 3.3 3.5	○ 児童が自主的に本校の1校1運動である一輪車に挑戦し, 朝の体力づくりを行っている。この活動に児童自身の目標を設定させることや主体的かつ創造的な活動に取り組ませることで, より積極的な活動になるようにする。 △ 体力・運動能力調査の結果を踏まえて, 体育・遊具施設を活用したトレーニングや体ほぐし運動を取り入れる。 ○ 学校保健委員会で児童の健康状態の現状報告や治療勧告, 健康増進を図るための情報提供を行った。また, P T Aの課題テーマである「生活習慣の見直し」についても情報を提供し, ペアレントトレーニングを図っていく。
研究	1 研修テーマに基づいた計画的・継続的な研修の実施 2 各種研修会・研究会での修養を生かした実践と指導法の工夫	3.6 3.5	○ 各種研修会・研究会に積極的に参加できるように環境を整え, 参加できている。職員に還元できる機会や場を設定する。 ○ 短期研修等への参加を呼びかけ, 受講することができた。
地域・家庭・連携	1 P T Aと連携した各種行事の円滑な企画・運営 2 学校だよりや学級だより等を活用した情報発信の充実 3 学校P T Aにおける年間テーマの実践と活動の充実 4 まちづくり協議会や地域の各種団体との連携の強化	3.1 3.5 3.5 3.2	○ P T Aや各関係団体との連携を図りながら, 実践できる内容を精選する。また, 実践する際は, 役割分担を明確にし, 打合せの在り方や方や連絡方法を工夫して, 円滑かつ効果的な活動になるように努める。
処 事 務	1 計画的な報告物・提出物の作成と適切な書類の整理・保管 2 勤務処理簿や公文書等の適切な処理	3.6 3.4	○ 職員週報や個別に提出期限を確認し, 計画的に報告物を作成していく。

3 次学期に向けての取組

【学力検査等の結果を踏まえた指導内容の重点化】

少人数・複式の指導のあり方について, さらに授業を通じた研究を深めるとともに, 個別指導の計画的な取組や間接指導時の学習形態の工夫を進めていく。

【体育・遊具施設の効果的な活用】

一校一運動(一輪車・なわとび・ジョギング)が習慣化しているので, それに併せて児童一人一人に到達目標を設定させ, 目標達成のための固定遊具を活用したサーキットトレーニングに全校体制で取り組んでいく。

【小規模校ならではの異年齢集団の活動】

縦割り清掃や遊びなどをおして, ボランティア精神や思いやり心の育成を図る。自己肯定感を高め, 「相手意識」を持った行動ができるように全職員で称賛を中心とする声掛けをする。

【学校P T Aにおける年間テーマの実践と活動の充実】

学校・P T Aそれぞれに特色のある活動を計画しているが, 児童数・P戸数が減少する中で運営面に課題が生じている。計画的・効率的な運営に努めるとともに, 活動の充実と校区の活性化を図る。